

平成22年度 事業計画書について

横浜市本牧海づり施設基本協定第32条に基づき別紙のとおり提出いたします。

担当 イオンデイトラスト株式会社

平成22年度

施設の管理運営に関する基本事項

対象施設

横浜市本牧海づり施設

対象期間

平成22年4月1日

～ 平成23年3月31日

施設の運営(開場・閉場)時間

期間	開場時間	閉場時間
4月～9月	6:00	19:00
10月	6:00	18:00
11月～2月	7:00	17:00
3月	6:00	18:00

施設の休場日

12月31日、1月1日、奇数月の第2火曜日(施設点検日)

(平成22年5月11日、7月13日、9月14日、11月9日、平成23年1月11日、3月8日)

つり施設の利用料金

入場料金

つり券	大人	中学生	小学生
一人 1回券	900円	450円	300円
団体一人 1回券	450円	220円	150円

回数券	大人	中学生	小学生
5枚綴り	3,150円	1,570円	1,050円
10枚綴り	5,400円	2,700円	1,800円
20枚綴り	9,000円	4,500円	3,000円

見学券	大人	中学生	小学生
一人1回券	100円	50円	50円
団体一人 1回券	50円	20円	20円

駐車場料金

区分	単位	利用料金	
乗合自動車	1台1日1回につき	500円	
乗合自動車以外の 四輪自動車	1台1日 1回につき	3時間まで	250円
		3時間を超え 5時間まで	350円
		5時間を超え 超えるとき	500円
自動二輪車	1台1日1回につき	70円	

業として広告写真の撮影又は映画の撮影その他これらに類する行為をする場合

区分	単位	料金
業として広告写真の撮影その他 これに類する行為をする場合	1日につき	30,000円
業として映画の撮影その他これに 類する行為をする場合	1日につき	60,000円

つり施設利用料金減免基準

減免適応対象	減免対象者	減免率	説明
学校教育法に規定する 学校の長が、教育上の 目的で使用するとき	小学校(特別支援学校の 小学部及びこれに準 ずるものを含む)の児 童及び中学校(中等教 育学校の前期課程、特 別支援学校の中学校 及びこれらに準ずるも のを含む)の生徒。	全額又は 1/2	・学校長が申請すること。 ・正規の教科以外のクラブ活動 部活動、生徒会活動の場合は 1/2減免とする。 ・前述の場合、愛好会、同好会 には適用しない。

撮影料金減免基準

横浜市海づり施設条例施行規則第10条第1項第1号の定めによる。

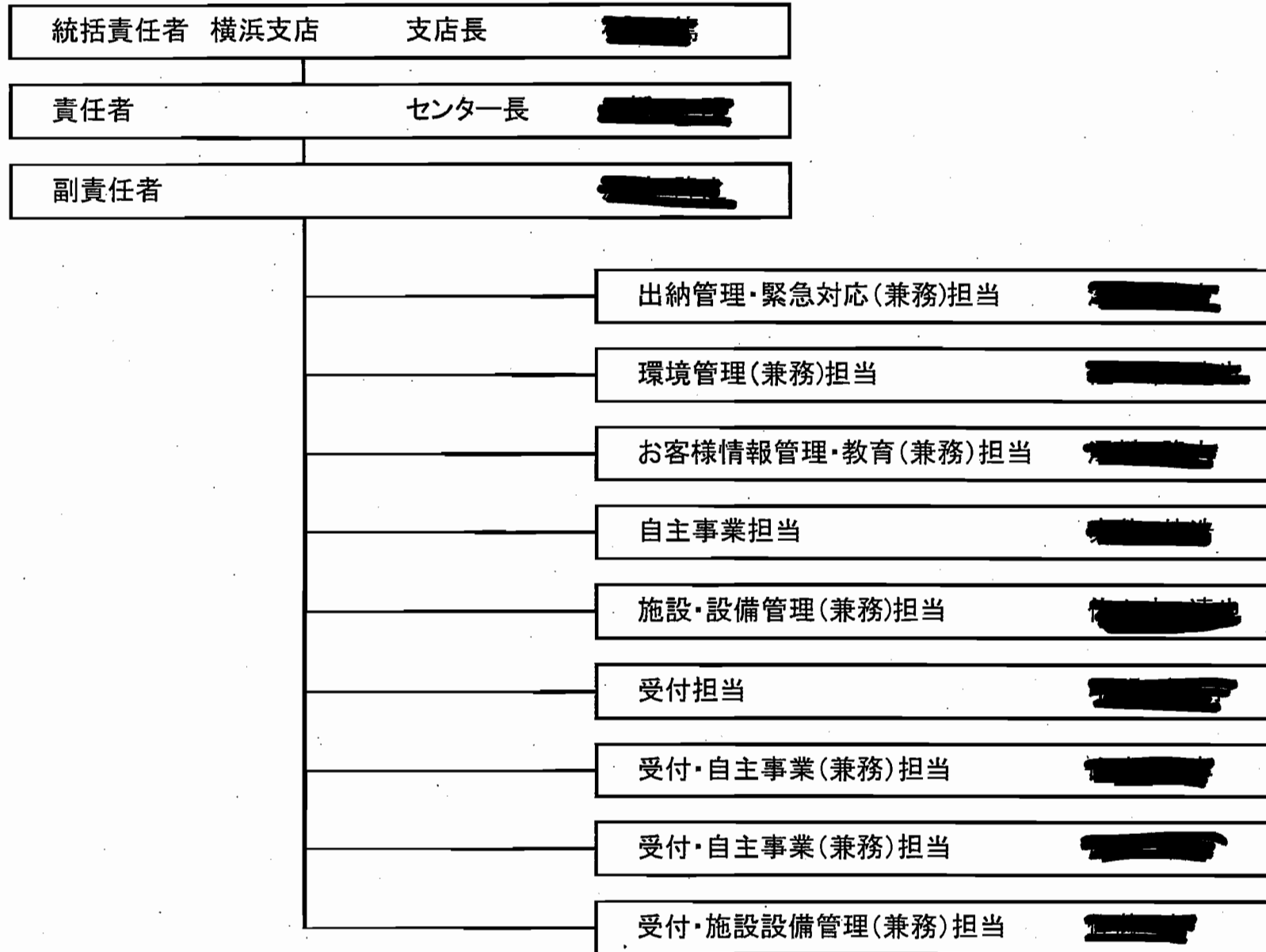
地方公共団体が主催し、又は共催する行事又は事業のために利用する場合

平成22年度

(1) 管理執行体制

< 職員配置体制表 >

施設名(横浜市本牧海づり施設)

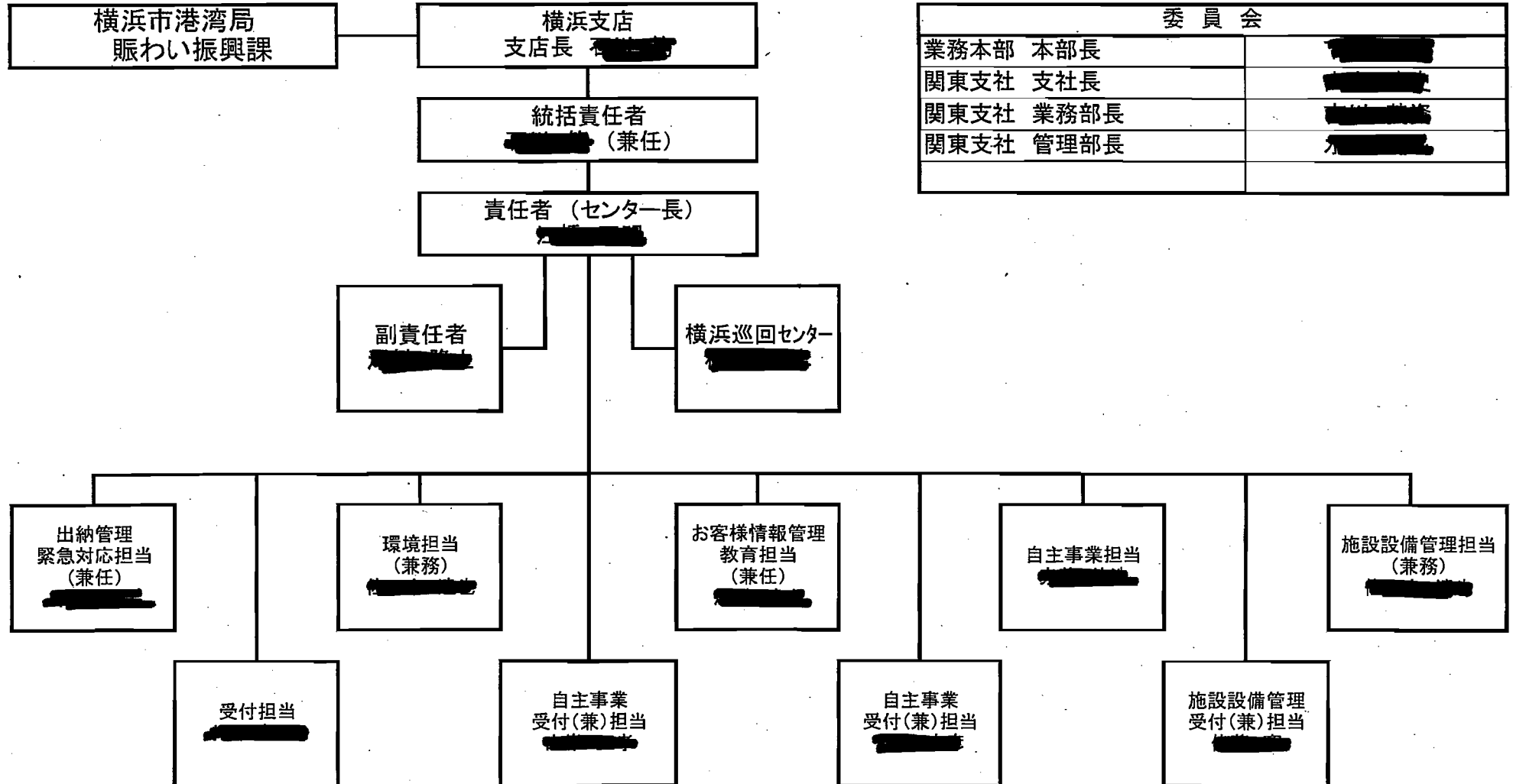


平成22年度

(1) 管理執行体制

<責任体制>

施設名(横浜市本牧海づくり施設)



平成22年度

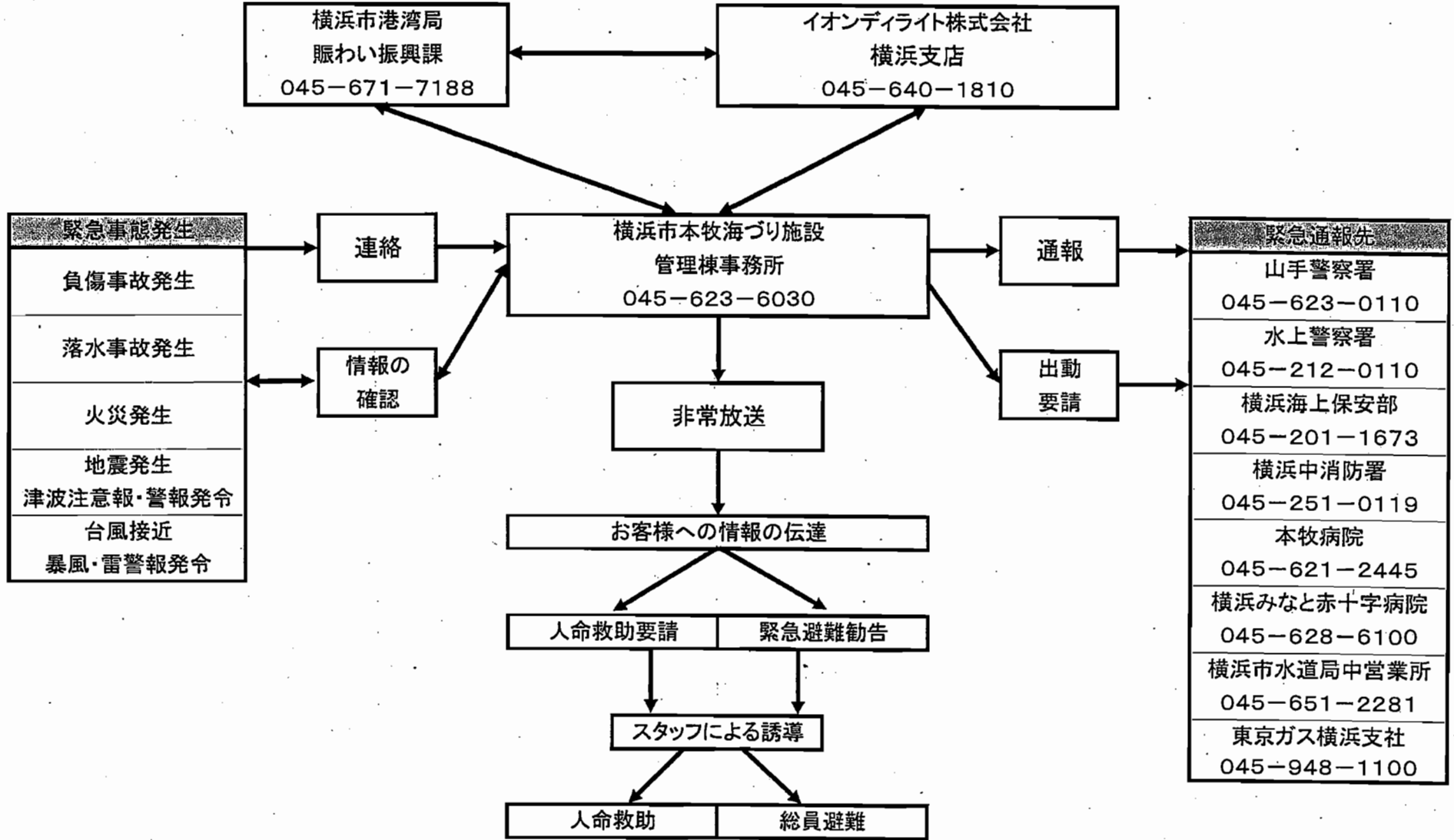
(1)管理執行体制 <事故発生時対応>

業務分類	緊急	作業名	事故発生時の対応	頻度	実施時期	即時	実施者	江橋 正明
実施場所:横浜市本牧海づり施設								
内容定義・目的: 1. 落水事故発生時の落水者の救助活動と二次災害防止の観点から、施設担当者が取るべき役割分担、具体的行動基準を示す 2. 傷害事故発生時の救急車要請と応急処理のために、施設担当者が取るべき役割分担、具体的行動基準を示す					使用する器具: ・担架、救命浮き輪、ゴムボート、ロープ ・毛布、薬箱 ・緊急連絡先 : 消防:119 海上:118 ・水上警察 045-212-0110 ・山手警察 045-623-0110 ・本牧病院 045-621-2445 ・みなと赤十字病院 045-628-6100 ・港湾局 賑わい振興課 045-671-7188 ・横浜支店 045-640-1810			
チェック	作業内容			ポイント:				
	1) 情報収集	: 早急に発生現場、人数を確認、傷害具合確認		救助活動に必要な道具の一括定位置管理				
	2) 通報	: 落水の場合水上警察署、海上保安部へ通報 消防署に救急車の要請		定期的な救助訓練の実施 緊急通報の手順書の作成、掲示				
	3) 館内非常通報	: 落水者ありの放送、救助協力の放送、ならびに二次災害防止の為の注意放送		自衛救助隊組織、役割分担、救助作業手順書、作成掲示				
	4) 救助・工作	: 状況判断に基づいた救命浮き輪、ゴムボート、救命胴衣、ロープ、の使用 状況判断に基づいた救命活動、応急手当		通報を受けた際、場所・人数・状況の確認 救命浮き輪、ゴムボート、担架、毛布等現場へ急送				
	5) 救助活動支援	: 落水者体温保護のための毛布、着替え、薬箱等用意 他お客様への注意の呼びかけ、事故原因となったものの排除 救急隊通行通路の確保		他のお客様にパニックを発生させないよう落ち着いて対応することが大切				
	6) 事故再発の防止	: 事故原因の調査、再発防止の対策実施						

平成22年度

(1)管理執行体制 緊急業務フローチャート

施設名 (横浜市本牧海づり施設)

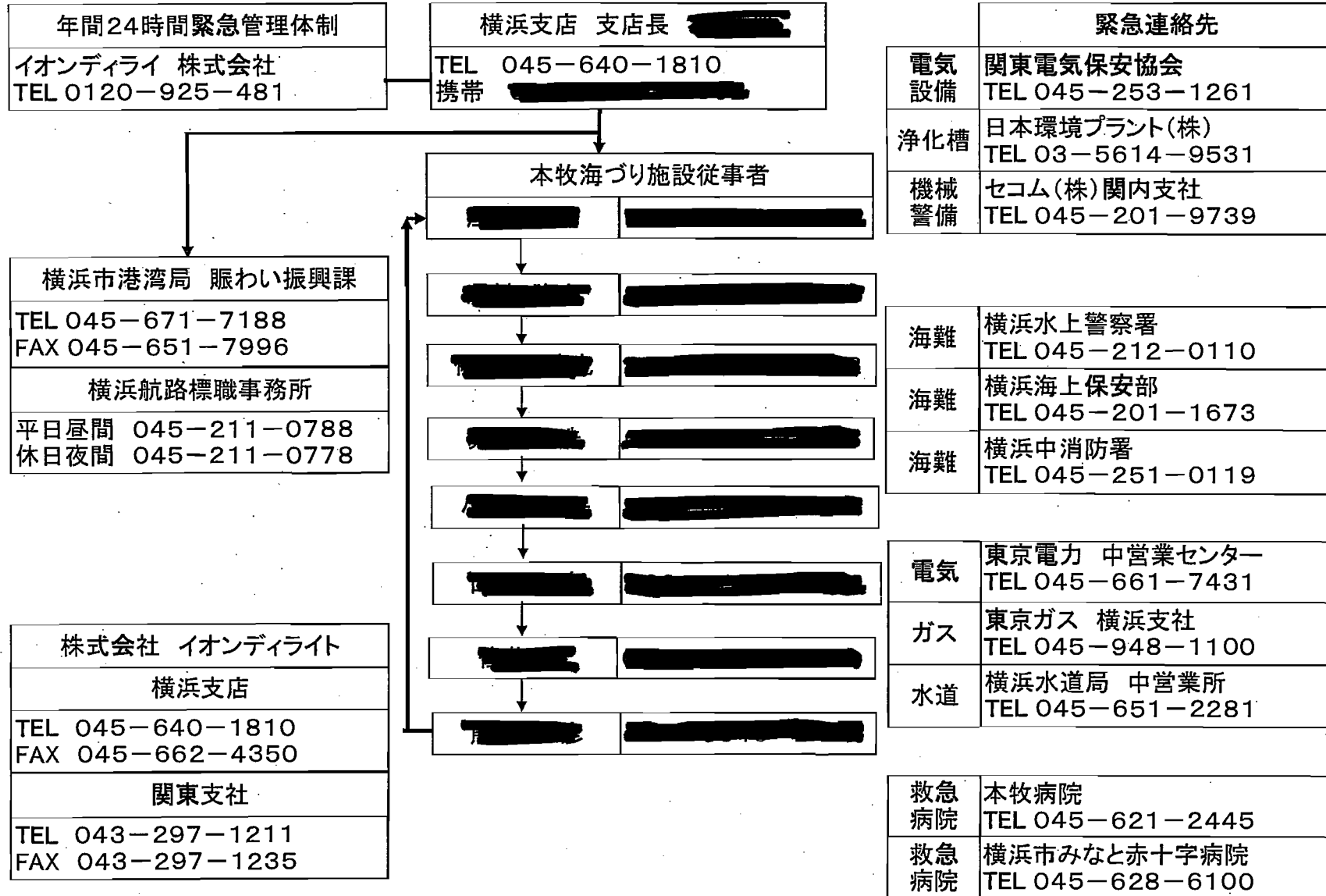


平成22年度

(1) 管理執行体制

<緊急連絡体制表>

施設名 (横浜市本牧海づり施設)



平成22年度

(2) 指定管理業務計画書 <外部委託予定表>

施設名 (横浜市本牧海づり施設)

業務名	委託内容	委託先名称	委託先住所	契約期間
電気設備保守点検業務	高圧受電設備法定年次点検、月次点検	関東電気保安協会神奈川事業本部	神奈川県横浜市南区高砂町1-17	平成22年4月1日より 平成23年3月31日まで
浄化槽保守点検業務	法定年次点検、巡回点検、水質調査 汚泥引き抜き	日本環境プラント株式会社	東京都中央区日本橋堀留町2-1-1	平成22年4月1日より 平成23年3月31日まで
消防設備点検業務	法定設備点検	イオンディライト株式会社	神奈川県横浜市中区不老町1-1-15	平成22年4月1日より 平成23年3月31日まで
定期清掃業務	管理棟床みがき、管理棟窓ガラス拭き	環境整備株式会社 横浜営業所	神奈川県横浜市中区羽衣町2-7-9	平成22年4月1日より 平成23年3月31日まで
緑地管理業務	除草作業、剪定作業、薬剤散布 刈り込み作業、施肥、目土かけ	環境整備株式会社 横浜営業所	神奈川県横浜市中区羽衣町2-7-10	平成22年4月1日より 平成23年3月31日まで
一般廃棄物処理業務	施設内ゴミ、リサイクル品の処理	有限会社安田商店	神奈川県金沢区幸浦2-2-9	平成22年4月1日より 平成23年3月31日まで
警備業務	開場時の監視カメラ警備、閉場時の機械警備	セコム株式会社 関内支社	神奈川県横浜市中区山下町224-1	平成22年4月1日より 平成23年3月31日まで

平成22年度 (2) 指定管理業務計画書 <防犯・防災対策>

施設名 (本牧海づり施設)

防犯対策

- 1 セコム機械警備
(1) 無人時の侵入異常、警察、警備、施設従業員現場着
(2) 金庫カメラ監視
- 2 山手警察署、夜間警邏協力
- 3 施設侵入者、被害届提出
- 4 繁忙時の警備員配置 (警備会社業務委託)

防災対策

- 1 子供用救命胴衣の無料貸し出し
- 2 8月、落水者救助訓練。海上保安庁、水上警察署、中消防署との共同訓練
- 3 毎月の救命浮輪投げ訓練 (お客様ご参加)
年2回の救護人搬送訓練
年2回普通救急救命技能をいかしたAED使用訓練
- 4 お客様へのお声かけ及び救助道具の点検
(1) 救命胴衣着用の呼び掛け
(2) 天候、天気、地震、津波、濃霧など異常時のご案内
(3) 場内巡回時に危険防止の呼び掛け
(4) 施設常設の救命胴衣の点検、護岸、棧橋設置の救命浮輪の点検
- 5 防火対策
(1) 年2回の消防設備点検
(2) 年2回の消防訓練の実施
(3) 避難経路、消火器設置場所の明示
(4) 消防、救急、海上保安庁への通報手順の明示

以上

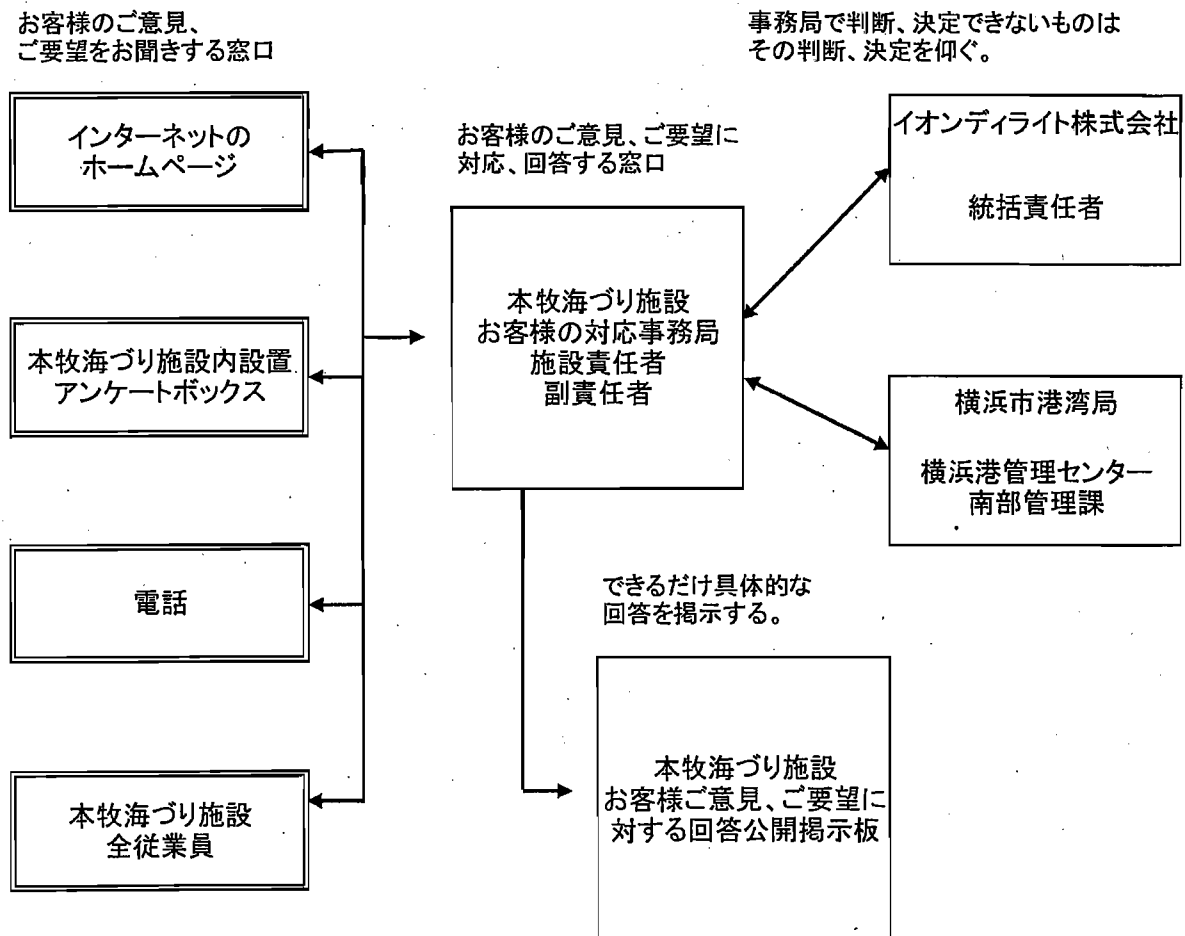
平成22年度 (2) 指定管理業務計画書 <要望対応方針・事務フロー>

施設名 (横浜市本牧海づり施設)

要望対応方針

- ◎お客様のご意見、ご要望の窓口は 1)インターネットのホームページ
2)施設内に設置のアンケートボックス 3)電話 4)従業員全員 とする。
- ◎お客様のご意見、ご要望への対応は、本牧海づり施設の責任者及び副責任者
で構成する事務局とし、その統制は統括責任者が行う。
- ◎お客様のご意見、ご要望への回答はできるだけ速やかに、迅速に行う。
- ◎お客様のご意見、ご要望は、その窓口で回答できるものは回答し、時間のかかるもの
についてはインターネットホームページまたは施設内掲示板に公開する。
- ◎事務局にて判断、決定できない問題については、統括責任、港湾局の判断を仰ぐ。

事務フロー



平成22年度

(2) 指定管理業務計画書 <研修計画表>

施設名(横浜市本牧海づり施設)

実施月	対象者	研修名	内容
4月	施設従事者	救命具の使用方法確認	救命胴衣、マリンポーチ、ゴムボートの点検及び使用方法の確認
	施設従事者	個人情報保護	個人情報保護法、横浜市個人情報の保護に関する条例の把握。 個人情報保護の運用、個人情報漏洩防止の施策。
5月	施設従事者	イオン行動規範・デイトウェイ教育	企業倫理、コンプライアンス
6月	施設従事者	担架搬送訓練	担架使用方法の確認と搬送訓練
7月	施設従事者	接客・マナー研修	挨拶の仕方、言葉の使い方、お客様の要望、苦言への対処の仕方等。
	施設従事者	救命具の使用方法確認	救命胴衣、マリンポーチ、ゴムボートの点検及び使用方法の確認
8月	施設従事者	電気設備1	電気設備の緊急対応訓練
	施設従事者	落水事故救助訓練	落水事故を再現し、通報・救助訓練並びに利用者への救命具の必要性などを啓蒙
9月	施設従事者	消防訓練	火災発生時の緊急対応確認
	施設従事者	普通救命講習	自主講習受講により、救命技能をブラッシュアップ
10月	施設従事者	救命具の使用方法確認	救命胴衣、マリンポーチ、ゴムボートの点検及び使用方法
11月	施設従事者	給排水設備	給排水設備の緊急対応訓練
12月	施設従事者	担架搬送訓練	担架使用方法の確認と搬送訓練
1月	施設従事者	イオン行動規範・デイトウェイ教育	企業倫理、コンプライアンス
	施設従事者	救命具の使用方法確認	救命胴衣、マリンポーチ、ゴムボートの点検及び使用方法
2月	施設従事者	接客・マナー研修	挨拶の仕方、言葉の使い方、お客様の要望、苦言への対処の仕方等
3月	施設従事者	消防訓練	火災発生時の緊急対応確認
	施設従事者	普通救命講習	自主講習受講により、救命技能をブラッシュアップ

※各研修、教育は複数回実施し全従業員が受講いたします

平成22年度

(3) 自主事業計画

<年間自主事業計画書>

施設名(横浜市本牧海づり施設)

NO	事業名	開催 予定月	開催内容	ターゲット	コンセプト	ジャンル	入場料 (有・無)	参加費 (有・無)	人数制限 (有・無)
1	小中学生釣り大会	8月	小学生を対象とした つり大会	お子さま	お子さまを対象とする事で、それに伴いファミリーでの来場者数の大幅な増加が期待する事が出来る。イベント開催によるお客様への還元の意味合いもあるが、釣り場全体を盛り上げる事が一番の狙い。	還元	有	無	無
2	魚種別釣り大会	3・7・11 月	季節ごとに釣れる魚による大会	全利用者	初心者さんからベテランさんまでわきあいあいと、季節ごとに釣れる魚による大会を開催し親睦を深める。	還元	有	無	無
3	星に願いを・・・七夕まつり	7月	館内に笹を設置し短冊を付けてもらう	お子さま	7月7日の七夕までの1週間程度の開催予定。特にお子さまを対象とし、施設内入り口に設置する事で、季節イベントの演出効果も期待できる。	還元	有	無	無
4	ハロウィンゲーム	10月	集まって頂いたお子様たちとゲームをして当たるとお菓子のプレゼント	お子さま	特に家族連れのお客様へ楽しんで頂く事を目標としたイベント。土日にご来場頂くファミリー層のお客様へ楽しんでいただく事で、満足度アップ、季節イベントの周知、リピーターとして再来場頂く事を目標としています。	還元	有	無	無
5	ビンゴ大会	6・11月	管理棟内にてビンゴ大会を開催	お子さま	土日の開催とする事で、幅広いユーザーを取り込む事が狙い。特にファミリー層の釣りをされない方を対象とする事で楽しんで頂く事が狙い。	還元	有	無	無
6	本牧サンタからのプレゼント	12月	本牧サンタとゲームをして勝者にはお菓子のブーツをプレゼント	お子さま	本牧では季節イベントを多数開催しているが、その中でも主力となるイベント。ファミリー層を狙い、土日に開催する事で釣りをされないお客様、特にお子さま客に喜んで頂く事を目標とし、釣りをしなくても楽しめる本牧の提案。	還元	有	無	無
7	敬老の日 無料釣りデー	9月	60歳以上の方は入場料が無料になる	シニア	敬老の日(9月20日)に開催し、高齢者の方にも優しいサービスの提供・地元地域の方への還元サービスの意味合いで行います。	還元	無	無	無
8	ひな祭り あられプレゼント	3月	女性にひなあられをプレゼントする	女性	イベント対象者へ先着順で「雛あられ」をプレゼントするイベント。日頃御利用いただいているお客様へのサービスの意味合い持つが、本牧で季節イベントを開催している事を周知する事が大きな目標。	還元	有	無	有
9	St.バレンタインデー	2月	カップル1名無料	ご夫婦・ カップル	st.バレンタインデー2月14日ご夫婦がカップルでおこしいただければ、1名様を無料にするイベント。イベント開催によるお客様への還元と本牧で季節イベントを開催している事を周知する事が大きな目標。	還元	有	無	無
10	イワシの日	10月	先着100名様へイワシのよくだるサビキのプレゼント	全利用者	本牧でよく釣れるシコイワシがたくさん釣れるサビキをプレゼントする事で、ファミリー層へ満足していただき、日頃から御利用頂くお客様への還元の意味合いもある。	還元	有	無	有

NO	事業名	開催予定月	開催内容	ターゲット	コンセプト	ジャンル	入場料 (有・無)	参加費 (有・無)	人数制限 (有・無)
11	本牧海づりお魚クイズ	2月	本牧でつれる魚を題材にしたマークシートを配布	お子さま	本牧でよく釣れる魚、環境問題についてのクイズを出題し、自然の大切さや魚についての知識を学んで頂く。それにより、ただ魚を釣りあげるのではなく、魚を釣り上げるたびに満足感や感謝の気持ちを持ってもらう事が狙い。	還元	有	無	有
12	黒鯛稚魚放流	9月	黒鯛の稚魚放流	全利用者	実際に自分の手で魚を放流する事で、自然の大切さや海の大切さを訴えていく。横浜市主催のイベントの為、宣伝効果も大きく、自然保護活動をする事でイメージアップも狙える。	環境	有	無	無
13	G30ゴミゼロ運動(5/30)	5月	ゴミの減量化を題材にしたイベントを開催	全利用者	施設内では日々多数のゴミが出ている。ゴミの分別・ゴミを出さない努力・資源の保護等を訴えていく。お子さまが多い土日の開催となるので、わかり易いゲームやクイズを交えた開催。これにより、釣り場のクリーンアップ-お客様満足度のアップを狙う。事前告知により、当日は「持ち込んだゴミは持ち帰る」運動を実施(お客様任意)。	環境	有	無	無
14	お魚さばき講座	4・6 11月	本牧でつれる魚のさばき方を実演する	全利用者	本牧で釣り上げられる魚のさばき方を実際に実演指導する事で、お客様満足度アップや、捨てられる魚の減少、マナーの向上が狙える。定期的開催する事により、週末の利用者数の増加も期待。	啓発	有	無	有
15	サビキプレゼント	5月	先着200名様へよくつれるサビキのプレゼントを行う	全利用者	日頃御利用頂いているお客様への還元を目的としたイベント。本牧での釣り方はサビキ釣りが主体となる為、必ず使用する釣具をプレゼントする事で満足度アップや朝からの利用者数の増加、お客様満足度アップが狙えます。	還元	有	無	有
16	ジャンケン大会	4・5 6・8月	各釣り場でジャンケンをし勝者にはアメをプレゼント	お子さま	土日にご利用頂いているファミリー層のお客様へのサービスを目的としたイベント。ご家族の方皆さんで参加して頂く事で、釣り場の活性化・お客様満足度アップを狙う。	還元	有	無	無
17	ホットドリンクプレゼント	12 1月	先着100名様へドリンクのプレゼントを行う	全利用者	ご来店頂いたお客様への還元を目的としたイベント。来店されたお客様は必ずドリンクを購入されるので、お客様へとしては嬉しいサービスだと思われれます。満足度アップを目標にしたイベント。	還元	有	無	有
18	ホッカイロプレゼント	1・2月	先着100名様へホッカイロのプレゼントを行う	全利用者	冬場の客足が伸び悩む理由の一つに「寒さ」がある。ほとんどのお客様が持参しているホッカイロを配布する事で、常連のお客様への還元・満足度の向上を狙う。	還元	有	無	有
19	みんなでニコリ記念写真プレゼント	4・7・ 8・10月	スタッフが釣り場へ行きお客様の写真を撮りフレームに入れてプレゼント	全利用者	土日に御利用頂いているお客様へのサービスイベント。各釣り場までスタッフが向かい、記念写真をフレームに入れてプレゼントする。フレームに入りの写真をプレゼントする事で、お客様の思い出作りに役立ち、結果的にリピーターとしてのご来店頂く事が目標。	還元	有	無	有
20	親子つり教室	4・5・6・ 7・8・9・ 10・11月	初心者を対象とした釣り教室の開催	全利用者	土日開催時はつり初心者の方、特にお子さま客を取り込みたいと考えています。お子さま客に本牧でのつりの楽しさやつり方を覚えてもらい、同時に釣りを通じての環境問題・自然の大切さを学び考えていただく。	啓発	有	有	有

NO	事業名	開催予定月	開催内容	ターゲット	コンセプト	ジャンル	入場料 (有・無)	参加費 (有・無)	人数制限 (有・無)
21	無料つりデー	4・6・7 10・11 1・2・3月	イベント対象者の入場料が無料になる	全利用者	イベント対象者の入場料が無料になる事で、それに伴いファミリー層やシニア層の利用者数の増加、結果的にお客様満足度アップ、来場者数の増加を図る。	還元	無	無	無
22	リールメンテナンス講座	12・1 2・3月	初心者を対象としたリールメンテナンス講座の開催	全利用者	海づりで必ず使用するスピニングリールを自身でメンテナンスする事で、より深い釣りの楽しさを知ってもらおう。また、オフシーズンの開催で閑散期対策・集客への期待もできる。	啓発	有	有	有
23	本牧海づり鍋まつり	3月	本牧で取れた魚を使った鍋を作り配布する	全利用者	本牧で取れた魚を使用した鍋を作り、お客様や地域住民へ無料で配布する。釣りをするだけの施設ではなく、地域との連携・つながりを意識した企画を行う。	還元	見学 無料	無	無
24	平成23年度3月の営業時間の変更	3月	7:00～17:00までの営業時間を6:00～18:00に変更	全利用者	朝まずめ・夕まずめに合わせた営業時間への変更してほしいとお客様からの要望が多数あった為、運営時間を変更して営業いたします。	還元	有	無	無
25	カラー魚拓講座	未定 ※4	墨だけではなく、カラーでポップな魚拓を制作体験。制作したものはお持ち帰りいただけます	全利用者	魚介類を使用したポップな魚拓制作体験をしていただき、夏休みの課題学習などに役立てていただける講習となっています。	還元	有	有 (価格 未定)	有
26	大物大賞	通年	ご希望のお客さまにエントリーをしていただき、一定時期がきたらその時点で大物大賞を決定。後日粗品進呈とHPにアップ	全利用者	自分の釣りスタイルをお持ちの中上級者にも楽しんでいただける内容に仕上げていく予定です。	還元	有	無	無
27	平成22年度年末年始の営業日変更	12・1月	海づり施設条例に定める年末年始の営業を年末は12月30日までとし、年始は1月2日より営業いたします	全利用者	釣り人にとっての「釣りおさめ」、「初釣り」はそれぞれのお客さまにとって大切なものであり、その釣りおさめ、初釣りにぜひ当施設を利用していただくために営業日の変更をして営業します。お客さまへの還元サービスを意としております。	還元	有	無	無

※ 注釈

1. 開催月は予定です。やむを得ず変更する場合がございます。
2. 事業名は変更、修正する場合がございます。
3. 詳細な実施予定日につきましては、約3ヶ月前に決定予定です。
4. 開催予定時期は未定となりますが、実施を予定しております。
5. 詳細な運用方法などは、後日決定予定です。

平成22年度

収支計画書

施設名 (横浜市本牧海づり施設)
(単位:円)

科目		予算額	前年度予算額	備考
収 入	施設入場料	80,736,000	74,070,000	
	駐車場入場料	26,020,000	26,020,000	
	自主事業		40,000	
	自主事業(自販機)	2,205,000	2,100,000	
	横北厚生館	730,000	730,000	
	① 収入合計	109,691,000	102,960,000	
科目		予算額	前年度予算額	備考
支 出	【運営費】			
	日常運営管理費	49,908,000	49,908,000	日常人件費等
	現場管理費	4,500,000	3,100,000	H P 管理・現場諸経費等
	光熱費	4,900,000	4,600,000	電気・ガス・水道
	販促費・安全装備品等	8,000,000	7,000,000	販促・安全対策
	イベント企画費	7,200,000	6,000,000	賑わい創出費用
	(運営費 小計)	74,508,000	70,608,000	
	【施設管理費】			
	駐車場ゲートリース費	2,440,620	2,440,620	リース費
	入場券売機リース費	1,653,120	1,653,120	リース費
	消耗品等	800,000	800,000	保守・消耗品等
	浄化槽維持管理	1,260,000	1,260,000	法定点検仕様に基づく
	電気保安全管理	240,000	240,000	法定点検仕様に基づく
	消防設備点検	150,000	150,000	法定点検仕様に基づく
	廃棄物処理	2,400,000	2,000,000	横浜市処理仕様に基づく
	機械警備費等	960,000	960,000	防犯カメラ等減価償却含む
	修繕保守費(小破修繕)	5,000,000	4,000,000	環境改善等
	諸経費・雑費	4,507,260	4,048,260	魚体検査等含む
	(施設管理費 小計)	19,411,000	17,552,000	
	【清掃費】			
	定期清掃・日常清掃	2,500,000	2,000,000	仕様に基づく
	【警備費】			
	臨時警備費等	4,200,000	4,000,000	
	【緑地管理費】			
	植栽剪定・防除等	1,500,000	1,500,000	仕様に基づく
	横浜市納付金額	7,200,000	7,200,000	
	目的外使用料金	372,000	100,000	
② 支出合計	109,691,000	102,960,000		

※ 上記収支表は消費税を含めております。